

熊本市出身で元週刊少年ジャンプ編集長の堀江信彦さん(61)＝東京＝らが、熊本地震からの復興を漫画の力で後押ししようと「熊本国際漫画祭」を15、16日に開く。「シティーハンター」などで知られる北条司さんや「北斗の拳」の原哲夫さんが、熊本のために描いたイラストを展示。世界から寄せられた漫画を見てもらう。



堀江信彦さん

堀江さんは集英社を退社後、漫画の出版社を設立。2012年から毎年、せりふのない「サイレントマンガ」の国際漫画コンテストをインターネット上で開く。

15、16日 熊本市で「熊本国際漫画祭」 有名作家 イラストを提供

北条司さんが熊本復興のために描き、会場に展示されるイラスト ©北条司/NSP 2010



原哲夫さんが熊本復興のために描いた加藤清正 ©原哲夫/NSP 2017

漫画の力 被災地あと押し

てきた。これまで102の国・地域から約3700点が集まり、世界最大規模のコンテストになっているという。

熊本での漫画祭は、県や各企業、漫画表現コースのある崇城大などの協力を得て開催。今年のコンテストの入賞作と過去の作品合わせて約100点を展示する。今年のテーマは「笑顔」

で、復興支援を念頭に「熊本城や阿蘇など熊本を舞台にすることが望ましい」として募集。約770点が寄せられたという。

このほか北条さんら漫画家3人にイラストを依頼。北条さんからは「熊復興100%」の文字をあしらった原画が寄せられた。原さんの作品はやりを持つ加藤清正で、ともに会場に展

示する。堀江さんは「熊本を思い、世界の人たちが漫画を描いた。漫画で笑顔を届けたい」と話している。会場は熊本市中央区の鶴屋百貨店。入場無料。16日に北条さんのトークイベントがある。実行委事務局・フラックス ☎096(247)6050。(中原功一朗)